

## 北陸地方建設事業推進協議会「令和3年度建設技術報告会」

### 「報告技術」募集のご案内

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催するものです。

本報告会は、今回で26回目となり、昨年は約500名の行政・民間の技術者の方々が13技術の報告を聴講されました。

#### 1. 開催期間

■令和4年1月12日（水）～25日（火）【土日を除く10日間】

#### 2. 開催形式・聴講規模

##### ■開催形式

オンデマンド配信(Webビデオ放映)形式

##### ■聴講募集定員

2,000名

#### 3. 申し込み方法

本報告会での「報告技術」のお申し込みは3ページ以降の各申込要領に従って行ってください。

#### 4. 主催

北陸地方建設事業推進協議会「令和3年度建設技術報告会」実行委員会は以下の23機関・団体により構成されています。

- ・国土交通省 北陸地方整備局
- ・新潟県
- ・富山県
- ・石川県
- ・新潟市
- ・東日本高速道路株式会社 新潟支社
- ・中日本高速道路株式会社 金沢支社
- ・一般社団法人 日本建設業連合会 北陸支部
- ・一般社団法人 日本道路建設業協会 北陸支部
- ・一般社団法人 新潟県建設業協会
- ・一般社団法人 富山県建設業協会
- ・一般社団法人 石川県建設業協会
- ・一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 北陸支部
- ・一般社団法人 日本建設機械施工協会 北陸支部
- ・一般社団法人 北陸土木コンクリート製品技術協会、

- ・一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部
- ・北陸PC防雪技術協会
- ・一般社団法人 新潟県融雪技術協会
- ・一般財団法人 新潟県建設技術センター
- ・北陸地質調査業協会
- ・一般社団法人 日本埋立浚渫協会 北陸支部
- ・一般社団法人 北陸地域づくり協会
- ・一般社団法人 日本建設橋梁協会 北陸事務所

## 5. 問い合わせ先

北陸地方建設事業推進協議会「令和3年度建設技術報告会」実行委員会事務局  
(国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内)

担当：技術情報管理官（新技術）、施工調査・技術活用課 技術活用係

〒950-1101 新潟県新潟市西区山田2310-5

T E L : 025-231-1281 (代表) F A X : 025-231-1283

E-Mail : [hokugi-info@hrr.mlit.go.jp](mailto:hokugi-info@hrr.mlit.go.jp)

# 1. 報告技術募集要領

## 1) 募集技術とテーマ

### (1) 募集技術

新技術及び更に普及を進めたい技術で、工法、機械、材料、システム、調査等の新技術及び開発途中の技術を募集の対象とします。なお、本報告会で過去に発表した技術は原則として発表の対象とはしませんが、その後の経過及び結果の報告が有用であり、特に普及を進めたい技術の場合に限り発表の対象とします。

また、応募技術は **1社2題以内** とし、複数技術（2題）を申し込む場合は貴社にて申込技術の優先順位を決めて申し込み下さい。申込技術数により1題のみの発表となる場合もありますので、予めご了承願います。

### (2) 募集テーマ

応募技術を下記の表-1「テーマ一覧表」に基づいて、テーマ区分（①～⑥）の技術例を参考にテーマに分類して下さい。

また、申込み技術の主な施工場所（河川・道路・砂防・港湾・共通）の区分についても、分類して下さい。

【表-1 テーマ一覧表】

テーマ	技術例
①i-construction による生産性向上、インフラ分野のDX	(ICT 施工、BIM/CIM、コスト縮減、省力化、情報化に関する新技術、従来技術との新たな組合せ 等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設ICTに係る技術・情報化施工技術</li> <li>・ 施工現場などあらゆる情報の共有化システム</li> <li>・ 業務の効率化・デジタル化などの情報技術</li> <li>・ 遠隔地に対応した無線LANの長距離化技術</li> <li>・ 鉄やコンクリートに代わる新材料の開発</li> <li>・ その他</li> </ul>
②社会資本の的確な維持管理・更新	(維持管理、長寿命化、更新に関する新技術等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ センシング・モニタリング技術</li> <li>・ ICTを活用した点検・診断の技術</li> <li>・ 維持管理費の縮減や耐久性のある材料に関する技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
③雪に強い地域づくり	(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冬期施工が可能な舗装技術</li> <li>・ 路面凍結防止抑制技術</li> <li>・ 積雪地域における各種冬期観測、計測技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
④自然災害からの安全確保	(危機管理、土石流などの防災に関する新技術等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土石流発生検知システムの技術</li> <li>・ 落石対策に関する技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
⑤環境の保全と創造	(建設副産物、リサイクル、脱炭素社会実現に向けた省エネルギー、再生可能エネルギーに関する新技術等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アスファルト舗装再生技術、排水性舗装の路上再生技術</li> <li>・ 建設副産物のリサイクル技術</li> <li>・ 道路照明灯の省エネ化・高度化技術</li> <li>・ 道路管理における再生可能エネルギーの導入技術</li> <li>・ その他</li> </ul>
⑥その他	(上記 ①～⑤のテーマに該当しない新技術等)

### (3)報告技術

本報告会の技術報告数は30課題を予定しています。

報告時間は1技術15分以内とします。

技術報告は、オンデマンド配信（Webビデオ放映）となります。

なお、報告技術の応募数が予定している応募数を超過した場合は、事務局で報告技術の選定を行いますので予めご了承願います。

論文発表者が報告するプレゼンテーションデータ（PDF）は、オンデマンド配信サイト及び北陸技術事務所のホームページよりダウンロードができるようにします。プレゼンテーションデータをPDFに変換のうえ、プレゼンテーション用動画ファイルと同封してください。（別紙-2 報告論文原稿作成要領 4項参照）

なお、配布が困難な場合は事務局までご連絡をお願いします。

### (4)報告論文

報告論文は報文集（PDF版）として、本報告会の実行委員会事務局である国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所のホームページ等への掲載・公開を予定しています。

URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/mijika/tecbox/936/>

（ホームページよりダウンロードが可能です。）

なお、建設技術報告会ホームページの質問サイトから発表者に対する質問を受け付けます。

質問があった場合は、各発表者へ転送しますので質問者に直接回答をお願いします。

## 2) 担い手確保・育成（技術の研鑽度評価）

北陸地方整備局の担い手確保・育成のとりくみとして、CPD・CPDSの単位取得に加えて、技術論文等も総合評価の加点対象に拡大する。本報告会の報告技術のうち、後述の3) (4)申し込み技術の採否における「採用：発表課題」と「採用：掲載課題」の双方を評価対象技術論文とする。

#### 【参考】

令和2年度 北陸地方整備局総合評価審査委員会【R3.3.10 実施】

資料2 令和3年度実施計画 P19参照

[http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/hinkaku/iinkai/03\\_siryu2.pdf](http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/hinkaku/iinkai/03_siryu2.pdf)

令和3年度工事の総合評価落札方式実施計画【工事関係】

#### 3. 担い手の確保・育成に向けて

##### 1) 技術の研鑽度評価の試行【継続】

継続教育の取組状況として、CPD及びCPDSの単位取得（令和3年度は2か年で1.0）に加え、技術論文等も評価の対象に拡大する。

技術論文等としては、配置予定技術者本人が執筆した工事における技術開発、創意工夫等で、技術雑誌や学会論文で公開されたものとする。

なお、評価対象論文等は、北陸地方整備局管内の話題を中心とした書物や雑誌とする。また、試行対象は、総合評価落札方式施工能力評価型Ⅰ型およびⅡ型とする。

○評価対象技術論文等

「北陸の建設技術」技術レポート

「北陸地方整備局事業研究発表会」発表論文

「北陸道路舗装会議」「北陸橋梁保全会議」**「建設技術報告会」技術報文**

※民間企業が発刊する技術雑誌等は対象外（○○技報、企業名入り雑誌）。

※複数名の発表資料等で、連名論文などの場合、筆頭投稿者のみ対象。

※工事ごとの競争参加資格条件（入札説明書等）に、上記の評価対象論文リストを掲載。

### 3) 募集技術の申し込み方法等

報告技術の募集から本報告会開催までの概略スケジュールを、次ページの「報告技術募集から開催までのスケジュール」に示します。

#### (1)申し込み方法

別添様式-1「報告技術申込書」に必要事項を記入して、**貴社が所属している実行委員会構成機関・団体へ EXCEL データで提出**して下さい。

#### (2)応募資格

北陸地方建設事業推進協議会「令和3年度 建設技術報告会」実行委員会の主催構成機関・団体の傘下に属する会社（機関）<sup>注）</sup>に限定します。

注）主催構成機関・団体の傘下に属する会社（機関）とは、主催者である実行委員会構成機関・団体に属する官公庁及び各協会等の会員会社である。ただし、主催構成機関の各県に属する市町村（新潟市を除く）からの申し込みは各県からの申し込みとみなします。

#### (3)申し込み期限

**令和3年8月3日（火）**

#### (4)申し込み技術の採否

申し込みされた技術を北陸地方への適用性、技術の優秀性等を考慮し、実行委員会で選定を行います。その後、実行委員会事務局より直接、報告技術を申し込みされた方へ採否通知を送付致します。報告技術の採否は、本報告会事務局より別添様式-1「報告技術申込書」に記入していただいた「メールアドレス」に配信いたしますのでアドレスは正確にご記入ください。

なお、報告技術の採否の種別は、「採用：発表課題」と「採用：掲載課題」及び「不採用」とします。「採用：発表課題」は、オンデマンド配信(Webビデオ放映)により技術報告を行うとともに北陸技術事務所のホームページ（建設技術報告会）及びオンデマンド配信サイトに掲載します。「採用：掲載課題」は、北陸技術事務所のホームページ（建設技術報告会）に掲載のみを行います。

通知は **8月下旬**を予定しています。

報告技術の選定種別の適用

	採用		不採用
	発表課題	掲載課題	
Web ビデオ放映	○	×	×
オンデマンド配信サイト掲載	○	×	×
北陸技術事務所 HP 掲載	○	○	×

#### (5)各様式

採用通知を受けた発表者の方は、「報告論文原稿作成要領」「技術報告ビデオ作成要領」を以下のホームページからダウンロードし、必要事項に記入のうえ提出してください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/mijika/tecbox/936/>

【報告技術募集から開催までのスケジュール】

	技術報告（発表者）	主催期間・団体等	実行委員会事務局 （北陸技術事務所）	実行委員会	備考
6月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■報告技術募集 報告技術募集を構成団体へ案内 7月7日（水）～8月3日（火）                 </div>		● 第1回実行委員会開催 （R3. 6. 23）	
7月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■報告技術申込み 報告技術申込書を主催機関・団体へ申込み 8月3日（火）締切                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■報告技術申込書の提出 申込みのあった報告技術申込書を取りまとめ随時事務局へ提出する 8月4日（水）必着                 </div>			
8月			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■報告技術選定（案） 8月上旬～8月中旬                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■報告技術選定承認 8月中旬                 </div>	
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■採否通知発送 8月下旬                 </div>		
9月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■報告論文原稿作成・提出 論文原稿（PDF版）事務局へ提出 9月30日（木）必着                 </div>				
10月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■プレゼン映像作成・提出 動画データ（DVD1枚）事務局へ提出 11月19日（金）必着                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■報文集校正・確認 ↓ 報文集HP掲載 （11月中旬）                 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     けんせつフェア開催 10月20日（水）～21（木）                 </div>
11月			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■プレゼン映像確認                 </div>		
12月			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ■聴講募集 12月1日（水）～1月7日（金）                 </div>		
1月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     令和3年度建設技術報告会開催 R4. 1. 12（水）～1. 25（火）                 </div>				